

平成 25 年度 事業 報告 書

公益財団法人 千葉市防災普及公社

第 1 事業の概要

東日本大震災の発生以降、市民の防災意識は高く、今後、大規模地震の発生が懸念されるなか、防火防災意識の高揚と防火管理体制の推進、応急処置技術の普及啓発を積極的に実施し、「安全で災害に強いまちづくり」の実現に向け、市民生活の安全と公共の福祉に寄与するための事業を行った。

公益目的事業では、災害の弱者といわれる幼児・高齢者などを火災や地震から守るため、防火・防災意識の普及及び広報活動や行政機関の行う防災施策に対する協力、防火管理体制等の教育指導講習を実施した。また、救命講習による実効性のある救命技術の普及促進に取り組む一方、防火管理者などに対し各種教育指導講習を実施し災害予防の更なる充実強化を推し進めた。

また、収益事業では、住宅用防災機器や家庭向け防災物品を販売し、災害時の備えとして各種防災用品の普及促進に努めた。

第 2 事業内容

1 防火防災の思想の普及啓発、知識技術の育成指導及び教育研修の実施に関する事業

(1) 防災意識の普及及び広報に関する事業

① 防災意識の普及及び広報活動

自主防災会や事業所等へ地震や風水害・火災等の防火防災に関するビデオ・DVD の貸出を行ったほか、防災啓蒙物品を作成、配布し防火防災に対する普及啓発に努めた。

また、防災普及車出向時に、訓練実施団体と調整を図り、公社が所有している訓練用水消火器などの資機材を活用し、消火器の使用方法的指導や防災に関する講話など実効性のある訓練を行い、防災意識の普及に努めた。

さらに、小学校低学年以下の子供とその保護者を対象に親子で学ぶ防災体験を実施した。

ア 防災啓発ビデオの貸出

(単位：件、本)

貸出件数	貸出本数
84	178

イ 啓蒙物品の作成・配布

(単位：品目、個)

品目数	作成数	配布先
7	25,140	防災訓練・防災イベント時に配布

ウ 訓練・体験用資機材の整備及び活用

(単位：回、人)

項目	実施回数	体験者数
訓練用水消火器使用体験	25	1,507

エ 防災訓練の実施

(単位：回、人)

開催回数	参加人数	実施内容
25	1,790	地震体験・煙体験・初期消火・119番通報体験・防災講話等

オ 親子で学ぶ防災体験

(単位：回、人)

開催回数	参加組数	実施内容
1	14	地震体験・煙体験・初期消火・119番通報体験 応急手当体験

② 防災普及車による防災意識の普及

東北地方太平洋沖地震の記憶が新しく、また、大規模地震の発生が懸念され、市民の防災意識が高まっているなか、自主防災会や事業所などの要請に応じて防災普及車による地震体験及び煙体験などを通じ、災害に備えた防災知識と安全な対処方法の普及に努めた。

(単位：回、人)

出向回数	参加人数	地震体験		煙体験		119番通報体験	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
232	22,091	232	16,408	127	11,930	5	505

(2) 行政機関の行う防災施策に対する協力に関する事業

① 行政機関の行う防災施策に対する協力

行政機関の要請に応じ、イベント会場等において、防火防災に関するコーナーを設け防災意識を啓発するとともに、地震体験指導や応急手当体験指導等を行った。

また、異常気象及び地震時等における情報連絡体制を確立したとともに、関係機関からの要請に応じ対応が図れるよう非常食糧や資機材等を整備した。

さらに、市民が行った初期消火活動や救助活動の案件に対し、消防の表彰に合わせて公社より記念品の授与を行った。

ア イベント等への支援協力

(単位：回)

協力回数	支援内容
23	物品展示・地震体験・煙体験・物品配布・応急手当体験

イ 異常気象及び地震時等における活動体制の整備

備蓄食糧及び資機材の整備

(単位：品目、食、個)

区分	品目数	補充数量
食糧	5	976
資機材	3	73

ウ 市民への表彰に伴う記念品の授与

(単位：件、人)

種別	件数	人数
個人	10	27
団体	3	3

(3) 防火管理体制等の教育指導講習等の事業

① 防火管理体制の教育指導講習

消防法に基づく自衛消防組織の統括管理者等を対象とした自衛消防業務講習、防火対象物における防火管理上必要な事項について定期点検及び結果報告をするために必要となる防火対象物点検資格者講習を実施した。

ア 自衛消防業務講習

(ア) 新規講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
14	439

(イ) 追加講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
2	57

イ 防火対象物点検資格者講習

(ア) 講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
1	32

(イ) 再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
1	85

② 防火管理講習等

消防法で定められた防火対象物において防火管理業務を実施するのに必要な資格を取得するための防火管理講習や防災管理上必要な業務を実施するのに必要な資格を取得するための防災管理講習を実施した。

また、千葉市火災予防条例に基づく防火管理者等実務講習及び自衛消防技術講習を実施した。

ア 防火管理講習

(ア) 甲種防火管理新規講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
8	1,409

(イ) 甲種防火管理再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
2	226

(ロ) 乙種防火管理講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
1	4

イ 防災管理新規講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
2	160

ウ 防火・防災管理新規講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
1	172

エ 防火管理者等実務講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
6	300

オ 自衛消防技術講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
3	71

カ 防火管理講習等用教材の頒布

(単位：種、冊)

テキスト種類数	頒布冊数
6	5,783

2 応急手当の普及啓発及び知識技能の向上に関する事業

救急隊が現場に到着するまでの空白の時間に真の救命率向上の「鍵」があり、より多くの市民が応急処置の知識と技術を身につけ、誰でも心肺蘇生法をはじめ AED の取扱要領や止血法などの救命処置が適切に図れるよう普及啓発に努めるため、救命講習での指導を行った。団体の要請に応じ指導員が出向したほか、常設の会場において定期的に講習を開催した。

(1) 救命講習

ア 普通救命講習Ⅰ 出張

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
256	5,796

イ 普通救命講習Ⅰ 常設

(単位：回、人)

開催回数	修了者数						
	合計	公社	消防局	花見川	稲毛	若葉	緑
191	1,596	474	728	122	100	102	70

ウ 普通救命講習Ⅲ

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
9	217

エ 上級救命講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
20	582

オ 上級救命再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
17	156

カ 応急手当再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
6	82

(2) 救命講習用教材の頒布

(単位：品目、個)

品目数	頒布数
2	1,662

3 防災物品等の普及促進に関する事業

住宅防火推進の一環として住宅用防災機器の普及促進に努めるとともに、災害時に役立つ各種防災用品の販売を行った。

(1) 防災用品の販売

ア 住宅用防災機器の販売

(単位：本、枚)

品目	販売数
住宅用消火器	346

イ 応急手当処置用品の販売

(単位：品目、本)

品目数	販売数
3	1,107

ウ 防災物品の販売

(単位：品目、件、個)

品目数	販売件数	販売数
18	38	488

エ 防災資機材の販売

(単位：品目、件、個)

品目数	販売件数	販売数
20	24	109

事業報告の附属明細書

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書については作成しないこととしている。